

令和2年度 事業方針

1. 基本方針

〈目的〉

1. 岩手県内における卓球の健全なる普及、発展と会員の統一及び、登録会員の体力向上、技術力の強化に資する取組みとする。
2. 組織運営におけるフェアプレーガイドラインに則り組織ガバナンスに資する取組みを行う。

〈施策〉

1. 大会運営
 - (1) カテゴリー別の大会開催目的等の明確化、かつ遵守した事業内容とすること。
 - (2) 大会開催にあたっては会計収支のバランスがとれていること。
2. 強化
 - (1) 選手の技術向上、取組み姿勢、豊かな人間性の醸成に資する取組み。
 - (2) 全日本大会の上位入賞を目標とする優秀指導者の育成を図る取組み。
3. 普及
 - (1) 小学生、中学生をはじめとした、全ての登録者拡大策の積極的な取組み。
 - (2) ラージボール卓球の登録者増加策の実施。
 - (3) 未登録者対象の卓球普及講習会等の企画、実施。
4. 加盟団体連携
 - (1) 県民大会開催等による支部協会の組織力強化に資する取組み。
 - (2) 登録クラブの活性化、発展に寄与する取組み。
5. 専門委員会
 - (1) 各カテゴリーの競技力向上及び普及、組織力強化に寄与する取組み。
 - (2) 専門的な見地を踏まえ、各委員会の横の繋がりの充実に資する取組み。

2. 主要事業計画

(1) 全国・東北大会等

- ① 2020全国高等学校総合体育大会卓球競技会
 - ・期 日 令和2年8月10日(月)～15日(土)
 - ・会 場 奥州市総合体育館
- ② 第33回全国ラージボール卓球大会 (中止)
 - ・期 日 令和2年6月26日(金)～28日(日)
 - ・会 場 盛岡タカヤアリーナ
- ③ 第34回全国ホープス北日本ブロック卓球大会 (中止)
 - ・期 日 令和2年8月1日(土)～3日(月)
 - ・会 場 盛岡タカヤアリーナ
- ④ 全国ホープス後援会東日本ホープス卓球大会
 - ・期 日 令和2年11月22日(日)～23日(月)
 - ・会 場 花巻市総合体育館第1・2アリーナ

(2) 合宿・イベント

- ① ソフトバンク絆カップ・Tリーイベント
 - ・期 日 令和2年8月23日(日)
 - ・会 場 奥州市総合体育館
- ② 中学生ブロック研修・小学生パスウエイ合宿
 - ・期 日 令和2年9月11日(金)～13日(日)
 - ・会 場 花巻市総合体育館第1・2・多目的

(3) 県内主要大会

- ① 第72回岩手県民体育大会
 - ・期 日 令和2年7月4日(土)～5日(日)
 - ・会 場 一関市総合体育館

3. 全体事業方針案

(1) 登録人数の拡大

- ① 小学生減少
 - ・2年度全日本(ホ・カ・バ)出場枠が3名⇒2名に(最小人数枠)
(H27:256 H28:222 H29:237 H30:221 R元:191 H27比:△65)
 - ＊参考 ・出場枠が3名⇒220～330 ・同4名⇒360～450
- ② 具体的施策
 - ・各市町村協会単位の「登録者」状況調査、登録推進の依頼
 - ・登録推進イベント(卓球体験等)の開催
 - ・小学生以外においても、未登録者への具体的な登録推進活動

(2) 事業収支の改善

- ① 現開催卓球大会ごとの収支状況を鑑み、参加者増加及び、経費削減の取組み
 - ・大会参加者の状況によっては大会の統合、廃止を今年度中から検討、実施
- ② 新型コロナウイルスの影響による大会中止等による収入減少への対策取組み
 - ・今後の日本卓球協会、岩手県の動向によっては更なる自粛が予想される

4. 各委員会取組み

(1) 高体連卓球専門部

- ① 岩手インターハイ応援Tシャツ販売
 - ・本協会一括発注⇒各種県大会時の販売、各種県大会等の賞品に活用
 - ・発注枚数⇒300枚(具体的大会名検討)

(2) ラージボール委員会

- ① 全国ラージボール卓球大会準備委員会開催
 - ・県予選会終了後 4月18日(土) 花巻市総合体育館
- ② 主管大会の運営役員派遣
 - ・5月4日(月) 盛岡タカヤ 全国健康福祉祭ぎふ大会県予選会
 - ・8月22日(土) 県営体育館 いきいき岩手支援財団主催 県民長寿祭
- ③ ラージボール卓球の普及、強化に資する取組み
 - ・登録者の拡大、新規大会の開催検討、強化につながる取組み検討

- (3) 社会人委員会
- ① 大会の見直し、収支改善
 - ・クラブ予選会 ・ダブルス団体 ・社会人オープン ・総合団体
 - ・見直し目的は登録者拡大、参加者増（今年度から実施検討）
 - ② レディース委員会との連携（委員会合同開催、大会見直し連携等）
- (4) レディース委員会
- ① 委員会運営の活性化
 - ・全国、東北レディース県予選会の活性化の方策アイデアの検討
 - ・登録人数拡大を目的とした新規大会の開催（今年度中実施に向け）
 - ② 社会人委員会との協力体制を強化及び事業運営の充実
- (5) ホープス委員会
- ① 最大の課題「登録人数拡大策」
 - ・徹底した現状把握（小学生の卓球愛好者はいるが登録しない理由）
 - ・対策⇒小学生のみ対象の「新オープンリーグ」の開催
 - ② 大会の見直し、収支改善
 - ・今年度から実施できるものは積極的に進める
- (6) カデット委員会
- ① 底辺の拡大策を実施し、登録人数の拡大につなげ、選手強化に生かす
 - ② 未登録チームへの登録促進の取組み（特に中学3年生）
- (7) 審判委員会
- ① 新審判委員会組織での取組みへ
 - ・委員会運営の活性化、事務局長の兼務、定期的会議の開催
 - ・各種大会への審判員等の派遣、公認審判員講習会の開催（含：講師派遣）
 - ② 会計処理方法の見直し
 - ・審判委員会事業の収・支は、他委員会と同様に参加料及び事業費に計上
（例：高校生の公認審判員講習会収支、全日本等審判員派遣費用など）
- (8) 障がい者スポーツ委員会
- ① 新規大会開催
 - ・大会名 第1回岩手オープン障がい者卓球大会
 - ・開催日 令和2年9月22日（火・祝）
 - ・会場 一関市総合体育館（サブアリーナ）
 - ・種目 知的、聴覚、肢体（含：車いす）、精神、視覚
 - ・対象 県内及び東北
 - ② 選手強化策
 - ・定期的強化練習会の開催（毎月第3土曜日、ふれあいランド）
 - ・対象 かがしま大会代表選手 ・指導者 委員会委員
 - ③ 将来に向けてはパラ卓球選手の発掘、サポート
- (9) 強化・育成委員会
- ① 各委員会との連携
 - ・強化事業及び普及事業等について強化育成委員を派遣する
 - ・具体的には、小・中学生オープンリーグ、小学生講習会等

(10) 100周年事業担当

- ① 準備委員会の正式発足
 - ・委員長（会長）
 - ・委員 4 名程度
 - ・年度計画策定
 - ・記念誌編集
- ② 開催事業年度 2022年（令和4年度） 11月頃

5. 本会法人化について

(1) 検討経緯

- ① 昨年10月、東北卓球連盟理事会開催時に「スポーツ団体の法人化について」と題し、日本卓球協会担当者による説明会が開催された。
- ② その内容（目的、国の指針、重要性等）を踏まえ本会においても検討に値するとの判断、1月4日、日本卓球協会松尾常務理事を講師に説明会を開催した。
- ③ 2月29日開催の常任理事会にて法人化することを確認、その後、日本卓球協会松尾氏に資料提供を行い法人化に向けて定款等の提案を受けることとした。

(2) 法人化に向けて

- ① 3月14日、日本卓球協会松尾氏より定款案の提示があり現在は内容について精査を行っている。
- ② 今後については日本卓球協会並びに行政書士のサポートを受けながら定款、運用規定、役員構成、課題等を整理し法人化に向けて検討するものとする。

6. 役員について

(1) 参 与

村 上 孝 氏（元常任理事 ポープス委員長）

(2) 事務局次長

山 田 保 氏（常任理事 ポープス委員長兼任）

別表① 令和2年度 全日本選手権大会各種目出場枠（令和2年3月14日現在）

	団 体	男子単	女子単	男子複	女子複	混 合	特別枠 (ペンホルダー 又はカットマン)
一般の部		2	2	1	1	1	
ジュニア		2	2				
カデット(2年)		2	2	2	2		4種目中 1種目(1名)
カデット(1年)		2	2				
ホープス		2	2				6種目中 2種目 (各1名)
カブ		2	2				
バンビ		2	2				
マスターズ		2	2				
ホープス団体	1						
社会人		4	4	2	2		
クラブ	1						
レディース	1						

別表② 国民体育大会卓球競技東北ブロック代表数

回	年度	開催地	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
第71回	H 28	岩手県(岩手除)	5	2	2	4
第72回	H 29	愛媛県	2	4	6	2
第73回	H 30	福井県	4	2	2	6
第74回	R 元	茨城県	2	6	4	2
第75回	R 2	鹿児島県	6	2	2	4
第76回	R 3	三重県	2	4	6	2

別表③ 東北卓球連盟関連事業開催地一覧

年度	ミニ国体	選抜合宿	高校選手権	高校選抜	東北中学校	東北レディース	北日本ホープス	審判講習会	東北ラージボール	年度
2010	岩手	秋田	青森	岩手	宮城	宮城	秋田	宮城	岩手	H22
2011 (震災)	青森 (宮城)	岩手	秋田 (福島)	宮城	岩手	中止	北海道	秋田	山形	H23 (震災)
2012	秋田	青森	山形	秋田	福島	青森	青森	福島	山形	H24
2013	山形 (福島)	宮城	岩手	山形 (福島)	山形	秋田	岩手	福島	秋田	H25
2014	福島 (山形)	山形 (福島)	秋田	福島 (山形)	秋田	山形	宮城	岩手	青森	H26
2015	岩手 (青森)	福島 (山形)	宮城	岩手 (青森)	青森	岩手	山形	岩手	岩手	H27
2016	青森 (岩手)	秋田	福島	青森 (岩手)	岩手	福島	秋田	青森	福島	H28
2017	秋田	青森	山形	秋田	宮城	宮城	福島	宮城	宮城	H29
2018	宮城	岩手	青森	宮城	福島	青森	北海道	山形	山形	H30
2019	福島	宮城	岩手	福島	山形	秋田	青森	秋田	秋田	R元
2020	山形	福島	宮城	山形	秋田	山形	岩手	福島	青森	R 2
2021	青森	山形	秋田	青森	青森	岩手	宮城	岩手	岩手	R 3
2022	岩手	秋田	福島	岩手	岩手	福島	山形	青森	宮城	R 4
2023	秋田	青森	山形	秋田	宮城	宮城	秋田	宮城	福島	R 5
2024	宮城	岩手	青森	宮城	福島	青森	福島	山形	山形	R 6

別表④ 全日本卓球選手権大会(一般・ジュニア)東北ブロック推薦者割当表

	山形	宮城	岩手	青森	福島	秋田
2020(R 2)年度		男子A	女子(ジュニア)		男子B	女子B
2021(R 3)年度	女子B		男子A	女子A		男子B
2022(R 4)年度	男子B	女子B		男子A	女子A	
2023(R 5)年度		男子B	女子B		男子A	女子A
2024(R 6)年度	女子A		男子B	女子B		男子A
2025(R 7)年度	男子A	女子A		男子B	女子B	